

【総務常任委員会】  
(テーマ1)

## 持続可能な地域公共交通～乗って守ろう、大切な生活の足～

分類	市民の意見など	委員会の考え	委員会の対応
利用状況	路線バスは発車時刻や停留所の位置が自分の生活に合わず、利用しない。	「あいくる」による課題解決につながるのか、各委員が試乗し、検証する。	議会で調査・研究
利用促進	より多くの人に乗れるように、路線バスの時間や停留所の位置を改善してほしい。	「あいくる」による課題解決につながるのか検証が必要。	議会で情報共有
利用促進	バス停周辺的环境整備が必要だと思う（安心して乗れるように街灯を設置して明るくする等）。	地域の個別事情として参考にする。	市当局と情報共有
利用促進	できるだけ公共交通を利用するよう、地域ぐるみで努力すべき。	建設的な意見であり、実践例を調査する。	議会で調査・研究
利用促進	乗車率向上のために市場調査してはどうか。	既存の調査結果の有無、必要性、具体的な手法について研究する。	議会で調査・研究
利用促進	郊外の路線バス減便地域こそ、デマンド化が必要。	既にデマンド化されている地域内交通の状況を調査する。	議会で調査・研究
「あいくる」	路線バスが減っているので、あいくるには期待する。	好意的な意見として当局に伝える。	市当局と情報共有
「あいくる」	あいくる運賃が1乗車400円は高い。	運賃設定の根拠を確認する。	議会で調査・研究
「あいくる」	あいくるに高齢者や障がい者の介助のため乗る人は運賃無料にしてほしい。	他の自治体事例を調査する。	議会で調査・研究
「あいくる」	自宅付近はあいくる運行範囲ではないが、運行地域まで自家用車で移動し、市街地ではあいくるを使おうと思う。	建設的な意見として当局に伝える。	市当局と情報共有

分類	市民の意見など	委員会の考え	委員会の対応
「あいくる」	小型車両・乗合であることを生かして、乗務員や乗客が障がい者への理解を深め、自然にサポートできると良い。	建設的な意見として当局に伝える。	市当局と情報共有
「あいくる」	乗務員には簡単な手話を覚えてほしい。筆談ボードやUDトークも車内に用意してほしい。	具体的な意見として当局に伝え、検討を依頼する。	市当局に検討を求める
「あいくる」	FAXでのあいくる申込ができるようにしてほしい。	具体的な意見として当局に伝え、対応を依頼する。	市当局に対応を求める
運転手確保	大型免許取得には費用・時間がかかるので、路線バスは二種免許で乗れる小型車両に切り替えた方が、運転手を確保・育成しやすいのではないか。	提言に盛り込むことを視野に入れ調査・研究を行う。	議会で調査・研究
運転手確保	労働条件（賃金、福利厚生）の改善が必要だが、そのためにも乗客が増えることが重要だと思う。	本質的な意見として共有する。	議会で情報共有
運転手確保	介護や農業等の合間に運転手として働ける環境整備（兼業の推進）をしてはどうか。	提言に盛り込むことを視野に入れ調査・研究を行う。	議会で調査・研究